

2024年3月8日
公益財団法人イオン環境財団

3月17日 白山市西松任駅開業記念さくら植樹を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田 元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長以下、当財団）は、2024年3月17日（日）、IRいしかわ鉄道・西松任駅開業を記念してさくら植樹を実施します。

日本ではさくらを育て、満開のさくらの下で、お花見に地域の人々が集い、笑顔が広がる場所を大切に守ってきました。当財団は、地域の方々が集い末永く親しまれるさくらの名所づくりとして、設立30年を契機に日本各地でさくらの植樹に取り組んでおります。

北陸新幹線が、2024年3月16日に金沢から敦賀へ延伸することに伴い、大聖寺駅から金沢駅間の路線は、JR西日本からIRいしかわ鉄道へ移管され松任から加賀笠間駅間に新駅「西松任駅」が開業します。当駅は、白山市役所の最寄り駅となり、駅周辺は、白山市松任北安田南部地区土地区画整理事業が進められております。本街づくりの一環として、当駅隣接の1号公園から4号公園に、新しいさくらの回遊ルートが整備され、地域の皆さまに親しまれる場所となることを願い、30本のコシノヒガンザクラを植樹する計画です。
当日は、1号公園に南区町内会の皆さまとともにさくらの植樹を行います。

当財団は、今後も次代にみどり豊かな自然環境を引き継ぐため、植樹をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

記

〈 記念植樹 〉

日 時	2024年3月17日(日) 10:00~11:00		
植樹地	白山市松任北安田南部地区土地区画整理事業施行地区内 1号公園		
参加者	35名		
本 数	15本		
樹 種	コシノヒガンザクラ		
主 催	白山市松任北安田南部地区土地区画整理組合		
共 催	公益財団法人イオン環境財団		
協 力	白山市		
出席者	白山市	市長	田村 敏和
(予定)	白山市議会	議員	藤田 政樹
	公益財団法人イオン環境財団	専務理事	山本 百合子

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて、地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに万里の長城での植樹をはじめとする「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業活動を中心に環境活動に取り組み、現在、持続可能な地域の実現を目的に新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。

当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、1991年より約1,265万本（2023年11月末現在）となります。

【石川県における活動】

年 月	植樹地	植樹本数
2004年～06年	加賀海岸	30,000本
2008年10月	かほく市	170本
2022年6月	金沢城大手堀さくら植樹	20本

＜白山市との共同宣言＞

2021年1月に白山市、株式会社クスリのアオキホールディングス、イオン株式会社、公益財団法人イオン環境財団は連携・協力し、人と環境にやさしいまちである「白山の森」づくりを推進します。この取り組みは、人と自然が共生するとともに、健康で活気に満ちた白山市を目指し、持続可能な地域社会の発展と実現に貢献していくものです。

【環境活動への助成】

当財団は、豊かな自然を守り持続可能な社会の実現のために取り組んでいる国内外の非営利活動団体を対象に、活動費の一部を助成しています。これまでの33回で累計3,436団体に対し総額31億946万円を助成いたしました。

石川県では、累計23件の助成を行っています。